

地域社会・文化論

～江戸時代の近江からの旅・近江の旅～

▶授業の目的と概要

【目的】この授業では、江戸時代の近江国内旅行と共に、近江国と遠隔地（東北地方など）の間を往復した旅行の実態について、近江商人が書き残した当時の旅の記録にもとづいて明らかにする。あわせて現代の国内観光や地域文化のあり方との比較も試み、歴史学の立場から現代日本社会や文化への理解を深めることも目的とする。

【概要】旅行者の立場から、近江国という地域で育まれた文化の歴史的特徴を明らかにすると共に、近江国を他地域との幅広い交流関係の中に位置付けて、互いに経済的・社会的・文化的な影響を及ぼし合った状況について論じる。

担当教員	経済学部 青柳 周一 教授
開講曜限	火曜日 3 限（12：50～14：20）
開講日	4 月 11, 18, 25
	5 月 2, 9, 16, 23, 30
	6 月 6, 13, 20, 27
	7 月 4, 11, 18
参考書情報 （補足）	<参考書> 「近江商人中井家の研究」／ 江頭恒治著，雄山閣，1992 「近江日野の歴史 第7巻（日野商人編）」／日野町史編さん委員会 編，日野町，2012

※授業は対面形式で行い、毎回レジュメと参考資料を配布する。